

大阪市電気局なる事業形態の下に採取せしめらるる我々従業員が、如何なる事情の下にある共に、個々の組合組織を以て別々の斗争を行ふ時、それは充分なる効果を望むを得ない。

我々は大阪市電気局と経済斗争を行ふには、先づ大阪市電気局なる資本形態の下に採取される全従業員は一九となりて之と抗争すべきは勿論、横の組織として各都市々電の背後にある金融資本家を倒すべく、全国的に斗争組合結成の要があるのだ斯る目的、効果達成のため、我々は今更互同盟を結成し、一切の斗争を避けて来たが、之も個々の組合が同盟を結成し、在野の斗争組合結成にはす時は、はるかに斗争力の弱さを痛感するのみである。三は之が同盟を結成し、今更互組合結成を以て全国的に全従業員に呼びかける時、前代未嘗有の大津二市の将以下を以てとする時、我々は一切の事情を克服して、局内組合の

軍団化同盟を断行するまでである。然るも全従業員は協同に團結し、殊に反斗組合結成すべきである。今更互同盟を以て、局内組合を以て、

三 団体 衆衆

海軍労働者同盟問題も同大急に提案し、即時合同促進委員会を請ふ。急遽市港勤電をめぐり、その実行方法は中執行委員会一任。

二 斗争 準備基金 金 積 立 社 会 関 心 者 提 案 委 員 会

今更互電気局には、先づ新聞を利用して従業員の整理はせむ。方針は、彼等特有のデマを書き立てながら、その裏面に於ては未嘗対策として、従業員大整理の陰謀を看み進めせむ。此の事は、三月三十一日深夜、局部長会議、二十六日の市長の助役局長並に、局部長の会合の議事に於て、新聞下をたぐひ、その裏面に暴露するものだ。ノミ

二我等は此の陣圧粉碎の方法として、ストライキを以て之に抗する以外